

平成 27 年度
自己評価報告書



学校法人トヨタ東京整備学園

専門
学校

トヨタ東京自動車大学校

Toyota Technical College Tokyo

平成 28 年 7 月 1 日作成

目 次

2 本年度の重点目標と達成計画	3	基準5 学生支援	29
3 評価項目別取組状況	4	5-16 就職等進路.....	30
基準1 教育理念・目的・育成人材像	5	5-17 中途退学への対応.....	31
1-1 理念・目的・育成人材像.....	6	5-18 学生相談.....	32
基準2 学校運営	8	5-19 学生生活.....	34
2-2 運営方針.....	9	5-20 保護者との連携.....	36
2-3 事業計画.....	10	5-21 卒業生・社会人.....	37
2-4 運営組織.....	11	基準6 教育環境	39
2-5 人事・給与制度.....	13	6-22 施設・設備等.....	40
2-6 意思決定システム.....	14	6-23 学外実習、インターンシップ等.....	42
2-7 情報システム.....	15	6-24 防災・安全管理.....	44
基準3 教育活動	16	基準7 学生の募集と受入れ	46
3-8 目標の設定.....	17	7-25 学生募集活動.....	47
3-9 教育方法・評価等.....	18	7-26 入学選考.....	49
3-10 成績評価・単位認定等.....	21	7-27 学納金.....	51
3-11 資格・免許取得の指導体制.....	22	基準8 財務	52
3-12 教員・教員組織.....	23	8-28 財務基盤.....	53
基準4 学修成果	25	8-29 予算・収支計画.....	55
4-13 就職率.....	26	8-30 監査.....	56
4-14 資格・免許の取得率.....	27	8-31 財務情報の公開.....	57
4-15 卒業生の社会的評価.....	28	基準9 法令等の遵守	58
		9-32 関係法令、設置基準等の遵守.....	59
		9-33 個人情報保護.....	60

9-34	学校評価.....	6 1
9-35	教育情報の公開.....	6 3
基準 10	社会貢献・地域貢献.....	6 4
10-36	社会貢献・地域貢献.....	6 5
10-37	ボランティア活動.....	6 7
4	平成 27 年度重点目標達成についての自己評価.....	6 8

1. はじめに

- (1) 本校の自己評価報告書は、平成 25 年 3 月に文部科学省が策定・公表した「専修学校における学校評価ガイドライン」に示された内容を基に作成されています。
- (2) 評価項目は、私立専門学校等評価研究機構がガイドラインに準拠して制定した「専門学校等評価基準書 Ver4.0」を適用しています。
- (3) 小項目の取り組み状況は、下記に示す 1 から 4 のランクで自己評定しています。

- 4 適切に対応している。課題の発見に積極的で今後さらに向上させるための意欲がある。
- 3 ほぼ適切に対応しているが課題があり、改善方策への一層の取り組みが期待される。
- 2 対応が十分でなく、やや不適切で課題が多い。課題の抽出と改善方策へ取り組む必要がある。
- 1 全く対応をしておらず不適切。学校の方針から見直す必要がある。

2. 学校自己評価委員の構成

- 委員長：松浪 良樹（理事・校長）
- 副委員長：高柳 尚之（理事・総務部 学生部部長）
- 副委員長：河本 博司（理事・教育部部長）
- 委員：眞田 泰寿（総務部副部長）
- 委員：藤川 龍彦（教育部次長）
- 委員：渡辺 浩（教育部次長）
- 委員：石水 渡（学生部次長）
- 委員：森 修一（教育部スマートモビリティ科課長）
- 委員：太田 靖也（教育部自動車整備科課長）
- 委員：戸賀沢 愛彦（教育部 1 級自動車/専攻科課長）
- 委員：江頭 裕司（総務部総務課）
- 委員：小白 直樹（教育部教育支援課）

1 学校の理念、教育目標

教 育 理 念	教 育 目 標
<p>基本理念</p> <p>専門学校トヨタ東京自動車大学校は、自動車技術教育の先進校として人材育成活動を通じて社会に貢献する。</p>	<p>教育方針</p> <p>21世紀の自動車社会に信頼される技術者を輩出する。</p> <ol style="list-style-type: none">1. 正確な自動車整備技術を備えた人材を育成2. 社会人として相応しい行動がとれる人間性豊かな人材を育成3. 地球環境を意識し、その保全・改善につとめることができる人材を育成 <p>教育スローガン：「技術を磨けそして人間性も」</p>

最終更新日付	平成 28 年 7 月 1 日	記載責任者	藤川 龍彦
--------	-----------------	-------	-------

2 本年度の重点目標と達成計画

平成27年度重点目標	達成計画・取組方法
<p>I 仕組み：学生募集</p> <p>【目標】オープンキャンパス1,300名参加、入学定員440名確保</p> <p>1) スマートモビリティ棟と隣接地を有効利用したPR力の強化</p> <p>2) 来校促進に向けた効率的なオープンキャンパス、イベントの実施</p> <p>3) 「募集活動の3S(紹介・推薦・奨学金)」の更なる浸透</p> <p>II 教育・環境：教育内容・学習環境</p> <p>【目標】資格・就職100%(第一志望合格率90%)、課外諸活動の全校生参加</p> <p>1) 定員増に対応した新カリキュラムの確立(自動車整備科)</p> <p>2) 登録試験全員合格に向けた取り組み</p> <p>3) 企業が求める「車が好き」で「逞しい」人材の育成</p> <p>4) スマートモビリティ棟を用いた次世代技術教育の実施</p> <p>III 教職員・IV 学校経営：採用・育成、経営、施設計画</p> <p>【目標】ベテランから若手へ伝承、黒字体質への転換</p> <p>1) 若手職員の重点的育成</p> <p>2) 内部進学増と施設の有効活用による黒字化</p> <p>3) 隣接地の購入と速やかな利用推進</p>	<p>I 仕組み：学生募集</p> <p>1) 専用リーフレット作成・展開</p> <p>2) 本校オープンキャンパス実施回数の増加</p> <p>3) 募集要項、高校宛書簡で具体的なPRを実施</p> <p>II 教育・環境：教育内容・学習環境</p> <p>1) 授業体制4ローテ⇒新5ローテ授業の確立</p> <p>2) 学生の自主性を育成し、学習習慣の定着促進</p> <p>3) モータースポーツ、オートサロン等の継続参加</p> <p>4) スマート社会に通用するカリキュラム・教材の検証</p> <p>III 教職員・IV 学校経営：採用・育成、経営、施設計画</p> <p>1) ベテランから若手職員への教育方法の伝承</p> <p>2) 上級課程定員100%に向けた内部進学促進</p> <p>3) 隣接地での駐車場利用の具体化</p>

最終更新日付

平成28年7月1日

記載責任者

藤川 龍彦

3 評価項目別取組状況

基準 1 教育理念・目的・育人人材像

総括と課題	今後の改善方策	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
<p>教育理念・目的・育人人材像等、全てが明確であり、将来的にも業界の中心となる卒業生達を育成する学校にふさわしいものとなっている。</p>	<p>従来の自動車技術に加えて、新たな環境対応車両が今後の自動車の主流になると考えられる現在、整備専門学校で教育すべき内容も電気・電子・通信等の要素が重要性を増す等、これまでに比べて非常に多様化して来ている。</p> <p>今後の自動車社会のニーズを十分に把握した上で、必要な教育課程、学習内容、教育設備を充実させていくことが求められる。</p>	<p>基本理念 専門学校トヨタ東京自動車大学校は、自動車技術教育の先進校として人材育成活動を通じて社会に貢献する。</p> <p>教育方針 21世紀の自動車社会に信頼される技術者を輩出する。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 正確な自動車整備技術を備えた人材を育成 2. 社会人として相応しい行動がとれる人間性豊かな人材を育成 3. 地球環境を意識し、その保全・改善につとめることができる人材を育成 <p>教育スローガン： 「技術を磨け、そして人間性も」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・トヨタ自動車がモータリゼーション時代に先駆けて設立した自動車整備士育成校。 ・管轄官庁は国土交通省及び文部科学省。

最終更新日付

平成 28 年 7 月 1 日

記載責任者

藤川 龍彦

1-1 理念・目的・育成人材像

小項目	チェック項目	評価	現状の取組状況	課題	今後の改善方策	参照資料
1-1-1 理念・目的・育成人材像は、定められているか	<input type="checkbox"/> 理念に沿った目的・育成人材像になっているか <input type="checkbox"/> 理念等は文書化するなど明確に定めているか <input type="checkbox"/> 理念等において専門分野の特性は明確になっているか <input type="checkbox"/> 理念等に応じた課程(学科)を設置しているか <input type="checkbox"/> 理念等を実現するための具体的な目標・計画・方法を定めているか <input type="checkbox"/> 理念等を学生・保護者・関連業界等に周知しているか <input type="checkbox"/> 理念等の浸透度を確認しているか <input type="checkbox"/> 理念等を社会の要請に的確に対応させるため、適宜見直しを行っているか	4	<ul style="list-style-type: none"> ・理念を基に育成人材像を定めている。 ・各教室、HP 等に掲示、掲載。 ・教育年数・内容・社会のニーズに応じたレベルで明確に定めている。 ・先進校として相応しい課程を設置している。 ・必要なカリキュラムを定めて教育を実施している。 ・学校行事・HP 等を通じて公表している。 ・就職先企業へのアンケート等で確認している。 ・時流の変化に対応して適宜見直ししている。 	課題なし	特になし	基本理念 各科卒業時の目標となる人物像
1-1-2 育成人材像は専門分野に関連する業界等の人材ニーズに適合しているか	<input type="checkbox"/> 課程(学科)毎に、関連業界等が求める知識・技術・技能・人間性等人材要件を明確にしているか <input type="checkbox"/> 教育課程・授業計画(シラバス)等の策定において、関連業界等からの協力を得ているか	4	<ul style="list-style-type: none"> ・企業の求人状況や採用の人材要件を勘案してカリキュラムに反映している。 ・業界関係者との交流の機会に、業界のニーズを元に助言を受けている。 	課題なし	特になし	トヨタ東大カレンダー 組織図 授業時間予定表 業務分担表

小項目	チェック項目	評定	現状の取組状況	課題	今後の改善方策	参照資料
1-1-2 続き	<input type="checkbox"/> 専任・兼任(非常勤)にかかわらず、教員採用において、関連業界等から協力を得ているか <input type="checkbox"/> 学内外にかかわらず、実習の実施にあたって、関連業界等からの協力を得ているか <input type="checkbox"/> 教材等の開発において、関連業界等からの協力を得ているか		<ul style="list-style-type: none"> ・自動車関連業界での経験者を採用するために企業からの協力を得ている。 ・インターンシップや実務見学等を依頼し、協力を得ている。 ・メーカーからの技術情報や教材提供を受けている。 			1 級科実務研修依頼文書 インターンシップに関する覚書
1-1-3 理念等の達成に向け特色ある教育活動に取り組んでいるか	<input type="checkbox"/> 理念等の達成に向け、特色ある教育活動に取り組んでいるか <input type="checkbox"/> 特色ある職業実践教育に取り組んでいるか	4	<ul style="list-style-type: none"> ・自動車整備士資格合格率 100%達成。 ・就職率 100%達成。 ・整備士以外の資格取得も積極的に推奨。 	継続的な成果を上げるための方策の検討が必要。	理念達成のために求められる教育活動について、内容の見直しを適宜実施する。	—
1-1-4 社会のニーズ等を踏まえた将来構想を抱いているか	<input type="checkbox"/> 中期的(3~5年程度)な視点で、学校の将来構想を定めているか <input type="checkbox"/> 学校の将来構想を教職員に周知しているか <input type="checkbox"/> 学校の将来構想を学生・保護者・関連業界等に周知しているか	4	<ul style="list-style-type: none"> ・学生募集活動の改善・強化。職員の採用と育成。新しい課程の新設検討。 ・中長期計画として周知している。 ・学校行事・HP等を通じて公表している。 	課題なし	特になし	—

中項目総括	特記事項(特徴・特色・特殊な事情等)
トヨタ自動車(株)直営校として、洗練された理念・目的・育成人材像を制定している。	1 級、2 級自動車整備士課程、車体整備士課程、スマートモビリティ科の4 課程を保有

最終更新日付	平成 28 年 7 月 1 日	記載責任者	藤川 龍彦
--------	-----------------	-------	-------

基準 2 学校運営

総括と課題	今後の改善方策	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
<p>学校運営については、自動車整備関連の大学校として崇高な理念の下、コンプライアンス精神をはじめ、環境配慮に至るまで現代社会が求める学校運営の理想の姿を実践している。また、環境に関しては、学生を含めたエコアクション 21 認証を取得し、環境意識の高い人材の育成を推進してきた。（平成 27 年 4 月 30 日付け取得）</p>	<p>今後の自動車業界の動きは、自動車単体の技術だけではなく、環境保全、省エネルギーや安全といった分野で人の生活や社会のしくみと連携した技術開発の方向へと進んでいる。</p> <p>その中で、当校の輩出する人材が備えるべき知識・技術も社会の流れにいち早く対応出来るものでなければならない。</p> <p>この変化に応じた学校運営・教育体制を他校に先駆けて構築していく必要がある。</p>	<p>学校運営</p> <p>グローバルな視点をもって社会と調和のとれた運営を行う。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 法とその精神を遵守し、オープンかつフェアに運営 2. 環境に配慮し、地域社会と調和 <p>特色</p> <ul style="list-style-type: none"> ・トヨタ自動車(株)系列 ・トヨタグループ各社より、理事及び評議員の参画

最終更新日付

平成 28 年 7 月 1 日

記載責任者

藤川 龍彦

2-2 運営方針

小項目	チェック項目	評定	現状の取組状況	課題	今後の改善方策	参照資料
2-2-1 理念に沿った運営方針を定めているか	<input type="checkbox"/> 運営方針を文書化するなど明確に定めているか <input type="checkbox"/> 運営方針は理念等、目標、事業計画を踏まえ定めているか <input type="checkbox"/> 運営方針を教職員等に周知しているか <input type="checkbox"/> 運営方針の組織内の浸透度を確認しているか	4	校内掲示 HPに掲載	課題なし	特になし	基本理念

中項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
学校の目的から方針に至るまで、学校内外に明示されている。	特になし

最終更新日付	平成 28 年 7 月 1 日	記載責任者	藤川 龍彦
--------	-----------------	-------	-------

2-3 事業計画

小項目	チェック項目	評価	現状の取組状況	課題	今後の改善方策	参照資料
2-3-1 理念等を達成するための事業計画を定めているか	<input type="checkbox"/> 中期計画（3～5年程度）を定めているか <input type="checkbox"/> 単年度の事業計画を定めているか <input type="checkbox"/> 事業計画に予算、事業目標等を明示しているか <input type="checkbox"/> 事業計画の執行体制、業務分担等を明確にしているか <input type="checkbox"/> 事業計画の執行・進捗管理状況及び見直しの時期、内容を明確にしているか	4	トヨタ自動車(株)と調整を取りつつ、理事会により確認及び承認を得ている。	課題なし	特になし	各年度理事会資料

中項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
定期的な理事会の開催及びその際報告される、事業計画は毎年きちんと見直し及び整備がされている。また、その事業計画に沿って運営がなされている。	特になし

最終更新日付	平成28年7月1日	記載責任者	藤川 龍彦
--------	-----------	-------	-------

2-4 運営組織

小項目	チェック項目	評定	現状の取組状況	課題	今後の改善方策	参照資料
2-4-1 設置法人は組織運営を適切に行っているか	<input type="checkbox"/> 理事会、評議員会は寄附行為に基づき適切に開催しているか <input type="checkbox"/> 理事会等は必要な審議を行い、適切に議事録を作成しているか <input type="checkbox"/> 寄附行為は、必要に応じて適正な手続きを経て改正しているか	4	各年度に2回の理事会・評議委員会を開催して、適切な学校運営を行っている。	課題なし	特になし	寄附行為
2-4-2 学校運営のための組織を整備しているか	<input type="checkbox"/> 学校運営に必要な事務及び教学組織を整備しているか <input type="checkbox"/> 現状の組織を体系化した組織規程、組織図等を整備しているか <input type="checkbox"/> 各部署の役割分担、組織目標等を規程等で明確にしているか <input type="checkbox"/> 会議、委員会等の決定権限、委員構成等を規程等で明確にしているか <input type="checkbox"/> 会議、委員会等の議事録(記録)は、開催毎に作成しているか <input type="checkbox"/> 組織運営のための規則・規程等を整備しているか <input type="checkbox"/> 規則・規程等は、必要に応じて適正な手続きを経て改正しているか	4	<p>・学校全体の運営組織図、各部署ごとの組織図を作成している。</p> <p>・開催毎に議事録を作成して記録に残している。</p>	課題なし	特になし	トヨタ東京自動車 大学校組織図

小項目	チェック項目	評価	現状の取組状況	課題	今後の改善方策	参照資料
2-4-2 続き	□学校の組織運営に携わる事務職員の意欲及び資質の向上への取組みを行っているか		・職員人材育成体系に則って必要な教育・研修を実施している。	課題なし	特になし	人材育成体系資料

中項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
運営組織(図)や意思決定機能は、しっかりしたものとなっている。また、効率的な構成になっており、その責務は明確である。	特になし

最終更新日付	平成 28 年 7 月 1 日	記載責任者	藤川 龍彦
--------	-----------------	-------	-------

2-5 人事・給与制度

小項目	チェック項目	評定	現状の取組状況	課題	今後の改善方策	参照資料
2-5-1 人事・給与に関する制度を整備しているか	<input type="checkbox"/> 採用基準・採用手続きについて規程等で明確化し、適切に運用しているか <input type="checkbox"/> 適切な採用広報を行い、必要な人材を確保しているか <input type="checkbox"/> 給与支給等に関する基準・規程を整備し、適切に運用しているか <input type="checkbox"/> 昇任・昇給の基準を規程等で明確化し、適切に運用しているか <input type="checkbox"/> 人事考課制度を規程等で明確化し、適切に運用しているか	4	<p>・HP への掲載、新聞広告等を通じ、本校 OB や社会経験豊かで必要な資格および資質を備えた人材が毎年採用されている。</p> <p>・本校賃金体系により適正な支給がなされている。</p> <p>・実績等に応じて新年度開始時に昇進・昇格が実施されている。</p> <p>・定められた規定に従い、考課表を使用して適正に運用している。</p>	課題なし	特になし	給与規則 考課手順 昇進昇格基準

中項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
人事や賃金での処遇に関する制度は、きちんと整備され運用されている。また、少子化社会に向け早くから計画的に人材確保に動いている。	特になし

最終更新日付	平成 28 年 7 月 1 日	記載責任者	藤川 龍彦
--------	-----------------	-------	-------

2-6 意思決定システム

小項目	チェック項目	評価	現状の取組状況	課題	今後の改善方策	参照資料
2-6-1 意思決定システムを整備しているか	<input type="checkbox"/> 教務・財務等の事務処理において、意思決定システムを整備しているか <input type="checkbox"/> 意思決定システムにおいて、意思決定の権限等を明確にしているか <input type="checkbox"/> 意思決定システムは、規則・規程等で明確にしているか	4	・規定に則って、理事会・経営層による定例会議・教職員会議等を通じ意思決定し、稟議書による決裁をしている。	課題なし	特になし	稟議書綴り 教職員会議事録

中項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
意思決定システムは、そのプロセスから権限に至るまで明確で、きちんと確立されている。	特になし

最終更新日付	平成 28 年 7 月 1 日	記載責任者	藤川 龍彦
--------	-----------------	-------	-------

2-7 情報システム

小項目	チェック項目	評価	現状の取組状況	課題	今後の改善方策	参照資料
2-7-1 情報システム化に取組み、業務の効率化を図っているか	<input type="checkbox"/> 学生に関する情報管理システム、業務処理に関するシステムを構築しているか <input type="checkbox"/> これらシステムを活用し、タイムリーな情報提供、意思決定が行われているか <input type="checkbox"/> 学生指導において、適切に（学生情報管理）システムを活用しているか <input type="checkbox"/> データの更新等を適切に行い、最新の情報を蓄積しているか <input type="checkbox"/> システムのメンテナンス及びセキュリティー管理を適切に行っているか	4	<p>各情報の管理は、学生情報処理（DB）、ファイルサーバ等を用いて管理している。</p> <p>上記 DB やファイルサーバのデータを適宜修正。職員向け HP、稟議書、各課日誌、メール等により、情報の共有化や閲覧等を進めている。</p> <p>システムのメンテやセキュリティにおいても毎年の更新処理時等に内容を確認し適宜継続、更新している。</p>	システムの効率化は継続課題であり、毎年見直しを実施している。	定期的なリプレイスだけでなく、使用目的、運用状況等を判断し、将来を見据えて抜本的な改善は今後計画する。	校内 HP 学生情報処理（DB）

中項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
情報システム化等による業務の効率化を図る努力は継続的に行っている。	特になし

最終更新日付	平成 28 年 7 月 1 日	記載責任者	藤川 龍彦
--------	-----------------	-------	-------

基準 3 教育活動

総括と課題	今後の改善方策	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
<p>各科の人材育成目標の下、『技術を磨け、そして人間性も』のスローガンを掲げ、各科毎に社会が求める人材の育成にあたっている。</p>	<p>卒業生が就職する企業の人材ニーズや世の中の期待する人間像は、時代の流れとともに変化していくため、その傾向を捉え本校の教育活動に柔軟に反映していくことが必要となる。</p>	<p>各科の人材育成目標 〈自動車整備科〉 サービススタッフの*1 即戦力として活躍できる技術(知識+技能)と人間性を身に付けている</p> <p style="text-align: center;">*1「即戦力」とは、単独で車検,法点ができることを意味する</p> <p>〈ボデークラフト科〉 サービススタッフとして、 *2 一般的な自動車サービスに対応できる知識・技術を身に付けている TPO をわきまえ,お客様の良い相談相手になれる</p> <p style="text-align: center;">*2「一般的な自動車サービスに対応できる知識・技術」とは、メンテナンス、故障修理,車体整備,用品装着等ができることを意味する</p> <p>〈スマートモビリティ科〉 カーエンジニアとして、「未来」を見据えた*3 次世代のサービスに対応できる、幅広い知識や技能、教養を身に付けている 社会人として常識と責任ある行動がとれ、業界のトップランナーとなりうる</p> <p style="text-align: center;">*3 次世代のサービスに対応できるとは、HV、PHV、燃料電池、ITS、スマートグリッドなどの新技術やスマート社会のシステムの広い知識を持ち、これらに関する様々な問題に対応できることを意味する</p> <p>〈1級自動車科／1級専攻科〉 サービススタッフとして、高難度故障修理ができる知識・技術に加え、*4 将来自動車業界のリーダーとなりうる知識・教養を身に付けている</p> <p style="text-align: center;">*4「自動車業界のリーダーとなりうる知識・教養」とは、経営・経済に関する基礎知識を意味する</p>

最終更新日付	平成 28 年 7 月 1 日	記載責任者	藤川 龍彦
--------	-----------------	-------	-------

3-8 目標の設定

小項目	チェック項目	評定	現状の取組状況	課題	今後の改善方策	参照資料
3-8-1 理念等に沿った教育課程の編成方針、実施方針を定めているか	<input type="checkbox"/> 教育課程の編成方針、実施方針を文書化するなど明確に定めているか <input type="checkbox"/> 職業教育に関する方針を定めているか	4	<ul style="list-style-type: none"> ・人材育成目標を定め、卒業時に目指す人物像を明示している。 ・企業の求める資質を人材育成目標に盛り込んでいる。 	課題なし	特になし	基本理念 各科卒業時の目標となる人物像
3-8-2 学科毎の修業年限に応じた教育到達レベルを明確にしているか	<input type="checkbox"/> 学科毎に目標とする教育到達レベルを明示しているか <input type="checkbox"/> 教育到達レベルは、理念等に適合しているか <input type="checkbox"/> 資格・免許の取得を目指す学科において、取得の意義及び取得指導・支援体制を明確にしているか <input type="checkbox"/> 資格・免許取得を教育到達レベルとしている学科では、取得指導・支援体制を整備しているか	4	<ul style="list-style-type: none"> ・各科卒業時の目標となる人物像を当校の教育方針に基いて定め、教室等に掲示している。 ・就職先における整備士資格および関連する資格取得の必要性について指導している。 ・通常の授業に加えて、資格試験前には資格取得に向けた内容の授業を実施している。 	<ul style="list-style-type: none"> ・自動車の技術的な進歩に合わせて教育内容も改訂していく必要がある。 	<ul style="list-style-type: none"> ・教育カリキュラムを見直し・再検討するしくみに基いて、定期的な見直しをしていく。 	各科カリキュラム

中項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
各学科の教育目標、育成人材像は、その学科に対応する業界の人材ニーズに向けて正しく方向付けられている	本校は常任理事に加え、学生が卒業後の主な就職先(トヨタ系企業)より、理事及び評議員が選出されており、人材ニーズの方向性は明確に把握できる。

最終更新日付

平成 28 年 7 月 1 日

記載責任者

藤川 龍彦

3-9 教育方法・評価等

小項目	チェック項目	評定	現状の取組状況	課 題	今後の改善方策	参照資料
3-9-1 教育目的・目標に沿った教育課程を編成しているか	<input type="checkbox"/> 教育課程を編成する体制は、規程等で明確にしているか <input type="checkbox"/> 議事録を作成するなど教育課程の編成過程を明確にしているか <input type="checkbox"/> 授業科目の開設において、専門科目、一般科目を適切に配分しているか <input type="checkbox"/> 授業科目の開設において、必修科目、選択科目を適切に配分しているか <input type="checkbox"/> 修了に係る授業時数、単位数を明示しているか <input type="checkbox"/> 授業科目の目標に照らし、適切な教育内容を提供しているか <input type="checkbox"/> 授業科目の目標に照らし、講義・演習・実習等、適切な授業形態を選択しているか <input type="checkbox"/> 授業科目の目標に照らし、授業内容・授業方法を工夫するなど学習指導は充実しているか <input type="checkbox"/> 職業実践教育の視点で、授業科目内容に応じ、講義・演習・実習等を適切に配分しているか	4	<ul style="list-style-type: none"> ・カリキュラムを検討するための委員会組織を作って活動している。 ・国土交通省の定める一種養成施設の自動車整備士養成課程の教育科目および標準教育時間の規定に基づいて専門科目を設け、その授業時数を定めて学則に明示している。 ・就職先企業で求められる知識・素養に照らして一般科目を設けている。 ・国土交通省の定める規定に基づき、また就職先企業において求められる資質を考慮した上で、学科・インターンシップ等の授業を配分している。 	課題なし	特になし	学則 各科カリキュラム 教育実績・教育計画

小項目	チェック項目	評定	現状・具体的な取組等	課題	課題の改善方策	参照資料
3-9-1 続き	<input type="checkbox"/> 職業実践教育の視点で教育内容・教育方法・教材等工夫しているか <input type="checkbox"/> 単位制の学科において、履修科目の登録について適切な指導を行っているか <input type="checkbox"/> 授業科目について、授業計画（シラバス・コマシラバス）を作成しているか <input type="checkbox"/> 教育課程は定期的に見直し改定を行っているか		<ul style="list-style-type: none"> ・企業で求められる知識・技術を考慮した上で教育内容・教育方法・教材を検討・選定している。 ・教育カリキュラムについて年度毎に改訂の必要の有無・および改訂内容の検討を行っている。 			
3-9-2 教育課程について、外部の意見を反映しているか	<input type="checkbox"/> 教育課程の編成及び改定において、在校生・卒業生の意見聴取や評価を行っているか <input type="checkbox"/> 教育課程の編成及び改定において、関連する業界・機関等の意見聴取や評価を行っているか <input type="checkbox"/> 職業実践教育の効果について、卒業生・就職先等の意見聴取や評価を行っているか	4	<ul style="list-style-type: none"> ・就職先企業への訪問やアンケートにて教育効果の評価・授業内容への意見を聞き取り調査して、教育課程の編成や教育カリキュラムに反映させている。 H26年度には、教育課程編成委員会を設置し、関連業界の方を委員に選任し意見聴取、評価を行った。 	課題なし	特になし	販売店訪問報告書 教育課程編成委員会報告書
3-9-3 キャリア教育を実施しているか	<input type="checkbox"/> キャリア教育の実施にあたって、意義・指導方法等に関する方針を定めているか <input type="checkbox"/> キャリア教育を行うための教育内容・教育方法・教材等について工夫しているか	4	<ul style="list-style-type: none"> ・卒業生受入れ企業の求める人材に合わせたキャリア教育指導方針を定めて実施している。 ・企業のニーズを踏まえた教育内容になるよう工夫している。 	課題なし	特になし	1年3学期「総合」レスンプラン

小項目	チェック項目	評定	現状・具体的な取組等	課 題	課題の改善方策	参照資料
3-9-3 続き	<input type="checkbox"/> キャリア教育の効果について卒業生・就職先等の意見聴取や評価を行っているか		・就職先企業への訪問やアンケートにて教育効果の評価を行っている。	課題なし	特になし	販売店訪問報告書
3-9-4 授業評価を実施しているか	<input type="checkbox"/> 授業評価を実施する体制を整備しているか <input type="checkbox"/> 学生に対するアンケート等の実施など、授業評価を行っているか <input type="checkbox"/> 授業評価の実施において、関連業界等との協力体制はあるか <input type="checkbox"/> 教員にフィードバックする等、授業評価結果を授業改善に活用しているか	4	・人材育成プログラムの一つとして公開授業の実施および授業評価を実施している。 ・必要に応じて学生に対する授業評価アンケートを実施している。	・授業評価の回数および範囲が充分とは言えない。	・可能な範囲で授業評価の回数および範囲を拡大する。	公開授業評価シート (職員用・学生用・集計結果)

中項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
教育方法については従来のやり方に固執することなく、様々な教育環境の変化に応じて柔軟性を持って見直しを実施している。 教育課程に関しては、教育課程編成委員会の委員よりの提案させた内容を教育課程に取り組み、より実践的な実習を行っている。	卒業時に自動車整備士資格を受験するに当たり、国土交通省の定める一種養成施設の教育内容・教育時間に関する規定を遵守すると共に、卒業後に自動車業界で活躍することを目的とした当校独自の教育プログラムを教育活動に盛り込んでいる。

最終更新日付	平成 28 年 7 月 1 日	記載責任者	藤川 龍彦
--------	-----------------	-------	-------

3-10 成績評価・単位認定等

小項目	チェック項目	評価	現状・具体的な取組等	課題	課題の改善方策	参照資料
3-10-1 成績評価・修了認定基準を明確化し、適切に運用しているか	<input type="checkbox"/> 成績評価の基準について、学則等に規定するなど明確にし、かつ、学生等に明示しているか <input type="checkbox"/> 成績評価の基準を適切に運用するため、会議等を開くなど客観性・統一性の確保に取り組んでいるか <input type="checkbox"/> 入学前の履修、他の教育機関の履修の認定について、学則等に規定し、適切に運用しているか	4	<ul style="list-style-type: none"> ・成績評価基準は学則に規定し、入学後のガイダンスで学生へ周知している。 ・各科毎の定例ミーティングおよび教職員会・進級卒業審査会議を開催して、客観性・統一性を確保している。 	課題なし	特になし	学則細則
3-10-2 作品及び技術等の発表における成果を把握しているか	<input type="checkbox"/> 在校生のコンテスト参加における受賞状況、研究業績等を把握しているか	4	<ul style="list-style-type: none"> ・学園祭の技術コンクールや、他校との整備技術等に関する競技会への参加を奨励し、好成績の学生を表彰している。 	課題なし	特になし	トヨタ東自大殿堂

中項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
成績評価・単位認定の基準は公正で、なおかつ明確になっている。	科目試験の受験資格として、①授業終了時にレポート提出 ②遅刻・欠席分の補習授業が全て完了していることを定めている。

最終更新日付	平成 28 年 7 月 1 日	記載責任者	藤川 龍彦
--------	-----------------	-------	-------

3-11 資格・免許取得の指導体制

小項目	チェック項目	評定	現状・具体的な取組等	課題	課題の改善方策	参照資料
3-11-1 目標とする資格・免許は、教育課程上で、明確に位置づけているか	<input type="checkbox"/> 取得目標としている資格・免許の内容・取得の意義について明確にしているか <input type="checkbox"/> 資格・免許の取得に関連する授業科目、特別講座の開設等について明確にしているか	4	<ul style="list-style-type: none"> 自動車関連企業における自動車整備士資格取得の必要性について指導している。 資格試験前には資格取得に目標を置いた内容の教育カリキュラムを実施している。 	課題なし	特になし	
3-11-2 資格・免許取得の指導体制はあるか	<input type="checkbox"/> 資格・免許の取得について、指導体制を整備しているか <input type="checkbox"/> 不合格者及び卒後の指導体制を整備しているか	4	<ul style="list-style-type: none"> 担当教員・クラス編成等について、最適な指導体制を整備している。 不合格者のフォローは確実に実施している。 	課題なし	特になし	登録試験対策授業計画

中項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
資格取得は専門学校に求められる最も重要な要素のひとつと位置付けて、常に受験者全員合格を目指して取り組んでいる。	国家資格不合格者に対しては、卒業後もフォローし資格取得に向けて指導を行っている。

最終更新日付	平成 28 年 7 月 1 日	記載責任者	藤川 龍彦
--------	-----------------	-------	-------

3-12 教員・教員組織

小項目	チェック項目	評定	現状・具体的な取組等	課 題	課題の改善方策	参照資料
3-12-1 資格・要件を備えた教員を確保しているか	<input type="checkbox"/> 授業科目を担当するため、教員に求める能力・資質等を明確にしているか <input type="checkbox"/> 授業科目を担当するため、教員に求める必要な資格等を明示し、確認しているか <input type="checkbox"/> 教員の知識・技術・技能レベルは、関連業界等のレベルに適合しているか <input type="checkbox"/> 教員採用等人材確保において、関連業界等との連携しているか <input type="checkbox"/> 教員の採用計画・配置計画を定めているか <input type="checkbox"/> 専任・兼任（非常勤）、年齢構成、男女比など教員構成を明示しているか <input type="checkbox"/> 教員の募集、採用手続、昇格措置等について規程等で明確に定めているか <input type="checkbox"/> 教員一人当たりの授業時数、学生数等を把握しているか	4	<ul style="list-style-type: none"> ・教職員人材育成体系に、それぞれの資格に応じた目指すべき姿を明示している。 ・国土交通省の定める一種養成施設の規定に則って、教員として必要な資格を取得させている。 ・教員採用に当たって、関連企業と連携の上で、自動車業界における実務能力を採用基準の一つに置いている。 ・国土交通省の規定に則った教員の人数を基に、採用・配置計画を進めている。 ・教員の構成については、学校組織図に明示している。 ・募集・採用・昇格等については規定に定めて実施している。 ・国土交通省の規定に則った授業時数・学生数で実施している。 	課題なし	特になし	人材育成体系資料 トヨタ東自大組織図

小項目	チェック項目	評定	現状・具体的な取組等	課 題	課題の改善方策	参照資料
3-12-2 教員の資質向上への取組みを行っているか	<input type="checkbox"/> 教員の専門性、教授力を把握・評価しているか <input type="checkbox"/> 教員の資質向上のための研修計画を定め、適切に運用しているか <input type="checkbox"/> 関連業界等との連携による教員の研修・研究に取り組んでいるか <input type="checkbox"/> 教員の研究活動・自己啓発への支援など教員のキャリア開発を支援しているか	4	<ul style="list-style-type: none"> 定期的な考課の際に教員の能力の評価を実施している。 人材育成体系を基に、資格に応じた研修プログラムで運用している。 トヨタ自動車と連携して研修を実施している。 資質向上に向けた支援は積極的に実施している。 	課題なし	特になし	人材育成体系資料
3-12-3 教員の組織体制を整備しているか	<input type="checkbox"/> 分野毎に必要な教員体制を整備しているか <input type="checkbox"/> 教員組織における業務分担・責任体制は、規程等で明確に定めているか <input type="checkbox"/> 学科毎に授業科目担当教員間で連携・協力体制を構築しているか <input type="checkbox"/> 授業内容・教育方法の改善に関する組織的な取組があるか <input type="checkbox"/> 専任・兼任（非常勤）教員間の連携・協力体制を構築しているか	4	<ul style="list-style-type: none"> 学科・担当科目に応じて最適な教員体制を整備している。 業務内容・責任・権限について定められている。 科目毎のグループを作り、連携・協力して業務を進めている。 科目毎に改善案を作り、カリキュラム委員会で検討・決定している。 常に情報交換を行い、連携して取り組んでいる。 	課題なし	特になし	教育部業務分担表

中項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
教員組織は国土交通省の定める一種養成施設の規定に則って構成され、自動車整備実務の経験を基に技術教育・学生指導に当たっている。 教員のスキルアップにも前向きに取り組んでいる。	当校の卒業生を中心に、自動車関連企業等で経験を積んだ教員で構成されている。 トヨタ自動車との連携により、最新技術の研修を実施。これを授業へ反映し、最新技術を学生へ指導している。

最終更新日付	平成 28 年 7 月 1 日	記載責任者	藤川 龍彦
--------	-----------------	-------	-------

基準 4 学修成果

総括と課題	今後の改善方策	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
<p>就職は、毎年100%の教育成果を実績として残している。</p> <p>資格取得率は、毎年100%に限りなく近い合格率を修めている。各科で資格取得に向け、対策授業を行い教科書改訂に伴う教育課程の変更等も毎年検討し、成果として残している。</p> <p>入学学生の学力向上のため入学前教育も実施し、退学率低減にも力を入れている。</p>	<p>就職内定は、100%であるが、第一希望の会社への内定に向けて更に努力していきたい。</p> <p>資格取得については、結果を分析し次年度の方針を早期に計画し、100%合格に向けて取り組んでいきたい。</p>	<p>本校は、就職 100% 資格2G100% 2D100% 1級100% 車体100% それぞれの合計500%達成を目指している。</p> <p>特に、昨年度は495.3%を達成した。</p> <p>就職100% 本校独自の就職ガイド、マナー講習、担任及び幹部職員による模擬面接指導、受験先別試験対策</p> <p>国家資格 2級ガソリン自動車整備士 99.5% 2級ジーゼル自動車整備士 100% 自動車車体整備士 100% 1級小型自動車整備士 93.6%</p> <p style="text-align: right;">平成28年5月末データ</p>

最終更新日付	平成28年7月1日	記載責任者	藤川 龍彦
--------	-----------	-------	-------

4-13 就職率

小項目	チェック項目	評定	現状・具体的な取組等	課 題	課題の改善方策	参照資料
4-13-1 就職率の向上が図られているか	<input type="checkbox"/> 就職率に関する目標設定はあるか <input type="checkbox"/> 学生の就職活動を把握しているか <input type="checkbox"/> 専門分野と関連する業界等への就職状況を把握しているか <input type="checkbox"/> 関連する企業等と共催で「就職セミナー」を行うなど、就職に関し関連業界等と連携しているか <input type="checkbox"/> 就職率等のデータについて適切に管理しているか	4	H26年度は就職希望者全員が就職しており、専門分野以外での就職はない。 (就職率100%) 卒業前に就職に対しての意識付けの授業の実施。	就職は100%であるが、早期退職者もいる。	卒業生の相談窓口を設置による早期退職防止を図りたい。	就職ガイド

中項目総括	特記事項 (特徴・特色・特殊な事情等)
学生の就職に関する目標は、毎年達成している。	

最終更新日付	平成28年7月1日	記載責任者	藤川 龍彦
--------	-----------	-------	-------

4-14 資格・免許の取得率

小項目	チェック項目	評定	現状・具体的な取組等	課題	課題の改善方策	参照資料
4-14-1 資格・免許の取得率の向上が図られているか	<input type="checkbox"/> 資格・免許取得率に関する目標設定はあるか <input type="checkbox"/> 特別講座、セミナーの開講等授業を補完する学習支援の取組はあるか <input type="checkbox"/> 合格実績、合格率、全国水準との比較など行っているか <input type="checkbox"/> 指導方法と合格実績との関連性を確認し、指導方法の改善を行っているか	4	<ul style="list-style-type: none"> 卒業時の国家試験において100%合格が目標。 資格試験前には資格取得に目標を置いた内容の教育カリキュラムを実施している。 常に他校との成果の比較、過去のやり方との比較検討を行い、実施方法の改善に取り組んでいる。 	26年度卒業時の登録試験（国家試験）において、1級小型97.3%、2級ジーゼル99.7%、2級ガソリン98.1%車体整備士では目標通り100%を取得した。次年度は全ての試験において100%取得を目指したい。	国家試験対策の実施方法の改善 不合格者については、卒業後のフォローによって全員合格を目指す。	

中項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
資格取得に関する目標は、全ての種目において卒業時の合格率100%とし、達成に向けて最大限の努力をしている。	<p>学生の習得度別クラス編成により緻密な学習指導を実施している。</p> <p>国家試験の結果を元に、学生個々の結果について各種分析を実施し、次年度の対策立案に反映させている。</p> <p>4年連続2級自動車整備士100%を達成している。</p>

最終更新日付	平成28年7月1日	記載責任者	藤川 龍彦
--------	-----------	-------	-------

4-15 卒業生の社会的評価

小項目	チェック項目	評定	現状・具体的な取組等	課 題	課題の改善方策	参照資料
4-15-1 卒業生の社会的評価を把握しているか	<input type="checkbox"/> 卒業生の就職先の企業・施設・機関等を訪問するなどして卒後の実態を調査等で把握しているか <input type="checkbox"/> 卒業生のコンテスト参加における受賞状況、研究業績等を把握しているか	4	<ul style="list-style-type: none"> ・定期的な就職先企業への訪問を実施して、卒業生の評価について調査している。 ・技術コンクールへの出場やその結果について情報を得ている。 	課題なし	特になし	販売店訪問報告書

中項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
卒業生・在校生は就職先企業で活躍し、評価を得ている。	卒業生の就職先へのアンケート毎年実施。気になる卒業生へのフォローを実施。

最終更新日付	平成28年7月1日	記載責任者	藤川 龍彦
--------	-----------	-------	-------

基準 5 学生支援

総括と課題	今後の改善方策	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
<p>学生支援体制は整備され、有効に機能している。 家庭環境の変化から奨学金を借りる学生は多い。</p>	<p>特になし</p>	<p>支援体制を保有しており、主に就職関係を担当する就職支援担当と、主に授業や課外活動への支援、短期大学併修等を担当する教育支援担当の2つのグループで構成されている。</p> <p>その他、精神面での支援として、相談室を週2日開放。専門相談員2名が対応。体調面の管理として、診療室に看護師常駐。校医は週2日診療に当たる。</p> <p>また、経済面の支援として日本学生支援機構他の奨学金制度を必要な学生に提供している。</p> <p>在校生・新入生向けにオリエンテーションの学費サポートプランを契約。これにより低利かつ簡単な審査で学費を借りることができる。</p>

最終更新日付

平成 28 年 7 月 1 日

記載責任者

藤川 龍彦

5-16 就職等進路

小項目	チェック項目	評定	現状・具体的な取組等	課 題	課題の改善方策	参照資料
5-16-1 就職等進路に関する支援組織体制を整備しているか	<input type="checkbox"/> 就職など進路支援のための組織体制を整備しているか <input type="checkbox"/> 担任教員と就職部門の連携など学内における連携体制を整備しているか <input type="checkbox"/> 学生の就職活動の状況を学内で共有しているか <input type="checkbox"/> 関連する業界等と就職に関する連携体制を構築しているか <input type="checkbox"/> 就職説明会等を開催しているか <input type="checkbox"/> 履歴書の書き方、面接の受け方など具体的な就職指導に関するセミナー・講座を開講しているか <input type="checkbox"/> 就職に関する個別の相談に適切に応じているか	4	<ul style="list-style-type: none"> ・就職支援体制は整備され、有効に機能している。また、担任教員と連携した個別徹底指導を実施している。 ・就活計画・内定進捗状況は常に学内で情報共有している。 ・就職先企業と連携して、学内で会社説明会を開催し、企業訪問の取りまとめを実施している。 ・就活に関する授業を行っている。 ・随時個別の対応を行っている。 	現状では課題はないが、「担当職員の若返り」が進んでいるので、指導方法の確実な伝承が課題になるといえる。	特になし	教育部組織表 就職ガイド

中項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
就職・上級学科への内部進学指導に関する体制は整備され、有効に機能している。	過去の各社の入社試験データを蓄積、活用している。

最終更新日付

平成 28 年 7 月 1 日

記載責任者

藤川 龍彦

5-17 中途退学への対応

小項目	チェック項目	評定	現状・具体的な取組等	課 題	課題の改善方策	参照資料
5-17-1 退学率の低減が図られているか	<input type="checkbox"/> 中途退学の要因、傾向、各学年における退学者数等を把握しているか <input type="checkbox"/> 指導経過記録を適切に保存しているか <input type="checkbox"/> 中途退学の低減に向けた学内における連携体制はあるか <input type="checkbox"/> 退学に結びつきやすい、心理面、学習面での特別指導体制はあるか	4	<ul style="list-style-type: none"> ・退学者については退学に至る経緯をまとめ、記録を保存すると共に、他の部署と情報共有して、今後の退学者低減のための対策立案に役立っている。 ・また、入学時にのクラス編成も極め細かく行うことにより退学率低減に役立っている。 ・相談室や診療室スタッフとも連携して、退学予備軍の早期発見・早期対応に努めている。 	学力以外の精神面や経済的な面に起因する退学が増えているのが課題である。	早期対応、相談室との連携を強化する。 その他、自動車をもっと好きになる施策実施。	稟議書綴り

中項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
退学率は低い水準を保っているが、より一層の努力をして更に低減に努めた い。	入学直後に宿泊オリエンテーションを実施し、コミュニケーション能力を向上させ早期退学を防いでいる。

最終更新日付	平成 28 年 7 月 1 日	記載責任者	藤川 龍彦
--------	-----------------	-------	-------

5-18 学生相談

小項目	チェック項目	評定	現状・具体的な取組等	課 題	課題の改善方策	参照資料
5-18-1 学生相談に関する体制を整備しているか	<input type="checkbox"/> 専任カウンセラーの配置等相談に関する組織体制を整備しているか <input type="checkbox"/> 相談室の設置など相談に関する環境整備を行っているか <input type="checkbox"/> 学生に対して、相談室の利用に関する案内を行っているか <input type="checkbox"/> 相談記録を適切に保存しているか <input type="checkbox"/> 関連医療機関等との連携はあるか <input type="checkbox"/> 卒業生からの相談について、適切に対応しているか	4	相談室を週2日・2名体制で開設している。 相談室の利用方法について学生に周知している。	課題なし	特になし	カウンセリング報告書 相談室活動報告
5-18-2 留学生に対する相談体制を整備しているか	<input type="checkbox"/> 留学生の相談等に対応する担当の教職員を配置しているか <input type="checkbox"/> 留学生に対して在籍管理等生活指導を適切に行っているか <input type="checkbox"/> 留学生に対し、就職・進学等卒業後の進路に関する指導・支援を適切に行っているか <input type="checkbox"/> 留学生に関する指導記録を適切に保存しているか	4	・留学生の教育指導・生活指導・在籍管理・就職斡旋の担当者を配置して、留学生の相談に当たっている。 ・留学生の指導記録は適切に保存されている。	国策として留学生を抱える専門学校への補助金制度等が必要。	特になし	外国籍学生データ

中項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
<p>学生相談に関する体制は整備され、有効に機能している。また、担任制も有効に機能している。</p>	<p>留学生のアルバイトに関しては、担任よりアルバイト先に連絡を取り、就労時間等の確認を実施。</p>

最終更新日付	平成 28 年 7 月 1 日	記載責任者	藤川 龍彦
--------	-----------------	-------	-------

5-19 学生生活

小項目	チェック項目	評定	現状・具体的な取組等	課 題	課題の改善方策	参照資料
5-19-1 学生の経済的側面に対する支援体制を整備しているか	<input type="checkbox"/> 学校独自の奨学金制度を整備しているか <input type="checkbox"/> 大規模災害発生時及び家計急変時等に対応する支援制度を整備しているか <input type="checkbox"/> 学費の減免、分割納付制度を整備しているか <input type="checkbox"/> 公的支援制度も含めた経済的支援制度に関する相談に適切に対応しているか <input type="checkbox"/> 全ての経済的支援制度の利用について学生・保護者に十分情報提供しているか <input type="checkbox"/> 全ての経済的支援制度の利用について実績を把握しているか	4	<ul style="list-style-type: none"> ・奨学金制度については就職先企業と連携して運用を開始している。 ・トヨタ関連企業からの奨学金など、経済的支援制度の情報提供は学生・保護者に対して随時行っている。 	課題なし	特になし	トヨタ東自大 奨学金制度（募集要項等）
5-19-2 学生の健康管理を行う体制を整備しているか	<input type="checkbox"/> 学校保健計画を定めているか <input type="checkbox"/> 学校医を選任しているか <input type="checkbox"/> 保健室を整備し専門職員を配置しているか <input type="checkbox"/> 定期健康診断を実施して記録を保存しているか <input type="checkbox"/> 有所見者の再健診について適切に対応しているか	4	<ul style="list-style-type: none"> ・診療室を設置し、常勤の看護師および週1日、近隣の医療機関から校医が来校して医療業務に当たっている。 ・毎年健康診断を実施して記録を保存すると共に、有所見者に対する健康指導・再健診を行っている。 	課題なし	特になし	学生指導要録

小項目	チェック項目	評定	現状・具体的な取組等	課 題	課題の改善方策	参照資料
5-19-2 続き	<input type="checkbox"/> 健康に関する啓発及び教育を行っているか <input type="checkbox"/> 心身の健康相談に対応する専門職員を配置しているか <input type="checkbox"/> 近隣の医療機関との連携はあるか		・健康な学園生活を送るための啓蒙教育については適時行っている。			
5-19-3 学生寮の設置など生活環境支援体制を整備しているか	<input type="checkbox"/> 遠隔地から就学する学生のための寮を整備しているか <input type="checkbox"/> 学生寮の管理体制、委託業務、生活指導体制等は明確になっているか <input type="checkbox"/> 学生寮の数、利用人員、充足状況は、明確になっているか	4	<ul style="list-style-type: none"> ・校内および校外に学生寮を保有している。 ・学生寮の管理・生活指導は専任者を配置して適切に実施している。 	課題なし	特になし	学生寮規則
5-19-4 課外活動に対する支援体制を整備しているか	<input type="checkbox"/> クラブ活動等の団体の活動状況を把握しているか <input type="checkbox"/> 大会への引率、補助金の交付等具体的な支援を行っているか <input type="checkbox"/> 大会成績など実績を把握しているか	4	<ul style="list-style-type: none"> ・モータースポーツ活動、クラブ活動等の課外活動を積極的に奨励して、人的・経済的な支援を行い、活動状況・活動成果については学内で常に情報共有している。 	課題なし	特になし	課外活動報告書

中項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
学生が安心して満足のいく快適な学園生活を送れるような配慮・支援については常に心掛けている。	特になし

5-20 保護者との連携

小項目	チェック項目	評定	現状・具体的な取組等	課 題	課題の改善方策	参照資料
5-20-1 保護者との連携体制を構築しているか	<input type="checkbox"/> 保護者会の開催等、学校の教育活動に関する情報提供を適切に行っているか <input type="checkbox"/> 個人面談等の機会を保護者に提供し、面談記録を適切に保存しているか <input type="checkbox"/> 学力不足、心理面等の問題解決にあたって、保護者と適切に連携しているか <input type="checkbox"/> 緊急時の連絡体制を確保しているか	4	<ul style="list-style-type: none"> ・保護者説明会を実施して、教育方針・就職活動・上級学科への進学についての説明を行った。 ・学生の生活指導・学業への取組みについて、必要な連携を適時行っている。 	課題なし	特になし	保護者説明会実施要領

中項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
保護者と適切に連携して教育活動に当たっている。	本校では学生の出欠管理に重きを置いて、朝9時に出席していない段階から保護者への電話連絡を行っている。

最終更新日付	平成28年7月1日	記載責任者	藤川 龍彦
--------	-----------	-------	-------

5-21 卒業生・社会人

小項目	チェック項目	評定	現状・具体的な取組等	課題	課題の改善方策	参照資料
5-21-1 卒業生への支援体制を整備しているか	<input type="checkbox"/> 同窓会を組織し、活動状況を把握しているか <input type="checkbox"/> 再就職、キャリアアップ等について卒後の相談に適切に対応しているか <input type="checkbox"/> 卒業後のキャリアアップのための講座等を開講しているか <input type="checkbox"/> 卒業後の研究活動に対する支援を行っているか	4	<ul style="list-style-type: none"> ・同窓会組織および定期的に常任委員会および総会を開催して活動している。 ・卒業後の種々の相談にはそれぞれの担任・担当が親身に対応している。 	課題なし	特になし	同窓会HP 同窓会常任委員会資料
5-21-2 産学連携による卒業後の再教育プログラムの開発・実施に取り組んでいるか	<input type="checkbox"/> 関連業界・職能団体等と再教育プログラムについて共同開発等を行っているか <input type="checkbox"/> 学会・研究会活動において、関連業界等と連携・協力を行っているか	4	<ul style="list-style-type: none"> ・国家試験不合格者へ卒業後も資格取得に向けたフォローおよび、上級資格受験者への支援を行っている。 	課題なし	特になし	
5-21-3 社会人のニーズを踏まえた教育環境を整備しているか	<input type="checkbox"/> 社会人経験者の入学に際し、入学前の履修に関する取扱いを学則等に定め、適切に認定しているか <input type="checkbox"/> 社会人学生等に対し、就職等進路相談において個別相談を実施しているか	4	<ul style="list-style-type: none"> ・社会人経験者についても積極的に入学受入れ体制を整えている。 ・卒業後の進路について、各自の事情に合った就職先の斡旋を行っている。 	課題なし	特になし	

中項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
卒業生との連携は、同窓会組織や資格取得に関する支援、自動車業界の現状に関する情報交換等を通じて随時行っている。	特になし

最終更新日付	平成 28 年 7 月 1 日	記載責任者	藤川 龍彦
--------	-----------------	-------	-------

基準 6 教育環境

総括と課題	今後の改善方策	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
<p>教育環境は、専門学校としては十分な環境と言える。また、施設・設備拡充時にはトヨタ自動車からの支援がある。</p>	<p>現在推進している中長期計画の中に、教育施設・設備の充実を盛り込んで、更なる教育環境の整備を目指している。</p> <p>西キャンパスの購入。H29年度には、実習車両の置き場、車両通学学生の駐車場として利用。また、オフロード車両用コースも設置予定これによりオフロード車両の挙動変化の習得を実施予定。</p>	<p>自動車に関する学習(含実習)がしやすい環境は全国トップクラスである。</p> <p>校内に食堂、グラウンド、アリーナ(体育館)、テニスコート、学生寮など設置。</p> <p>トヨタ自動車(株)関連施設の利用 トヨタ系企業の施設の利用</p>

最終更新日付

平成 28 年 7 月 1 日

記載責任者

藤川 龍彦

6-22 施設・設備等

小項目	チェック項目	評定	現状・具体的な取組等	課 題	課題の改善方策	参照資料
6-22-1 教育上の必要性に十分対応した施設・設備・教育用具等を整備しているか	<input type="checkbox"/> 施設・設備・機器類等は設置基準、関係法令に適合し、かつ、充実しているか <input type="checkbox"/> 図書室、実習室など、学生の学習支援のための施設を整備しているか <input type="checkbox"/> 図書室の図書は専門分野に応じ充実しているか <input type="checkbox"/> 学生の休憩・食事のためのスペースを確保しているか <input type="checkbox"/> 施設・設備のバリアフリー化に取り組んでいるか <input type="checkbox"/> 手洗い設備など学校施設内の衛生管理を徹底しているか <input type="checkbox"/> 卒業生に施設・設備を提供しているか <input type="checkbox"/> 施設・設備等の日常点検、定期点検、補修等について適切に対応しているか <input type="checkbox"/> 施設・設備等の改築・改修・更新計画を定め、適切に執行しているか	4	<ul style="list-style-type: none"> ・自動車社会の将来に向けた技術的発展を視野に入れて、最新の設備を備えたスマートモビリティ棟を有効利用している。 ・設置基準・関係法令に適合するよう整備されている。 ・専門分野を中心とする書籍を保有し、学生が閲覧できる図書室や十分な広さの学生食堂を持っている。 ・校内の施設・設備については、常に最良の状態に保てるように定期的に必要な点検・修理を実施している。 	新型車や先進機器など最新教材の導入継続。	計画的に予算に盛り込んで必要機材の更新・新規購入を実施する。	教育部予算資料 重点管理設備日常点検表

中項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
施設・設備は、中長期的な計画に基づいて、教育上の必要性に十分対応できるよう順次整備を進めている。	西キャンパスの購入により、車両通学拡大し学生の車両運転技術を向上させる。また、オフロード車両用のコースを計画。

最終更新日付	平成 28 年 7 月 1 日	記載責任者	藤川 龍彦
--------	-----------------	-------	-------

6-23 学外実習、インターンシップ等

小項目	チェック項目	評定	現状・具体的な取組等	課 題	課題の改善方策	参照資料
6-23-1 学外実習、インターンシップ、海外研修等の実施体制を整備しているか	<input type="checkbox"/> 学外実習等について、意義や教育課程上の位置づけを明確にしているか <input type="checkbox"/> 学外実習等について、実施要綱・マニュアルを整備し、適切に運用しているか <input type="checkbox"/> 関連業界等との連携による企業研修等を実施しているか <input type="checkbox"/> 学外実習について、成績評価基準を明確にしているか <input type="checkbox"/> 学外実習等について実習機関の指導者との連絡・協議の機会を確保しているか <input type="checkbox"/> 学外実習等の教育効果について確認しているか <input type="checkbox"/> 学校行事の運営等に学生を積極的に参画させているか <input type="checkbox"/> 卒業生・保護者・関連業界等、また、学生の就職先に行事の案内をしているか	4	<ul style="list-style-type: none"> ・ 1 級課程においてはインターンシップは国土交通省の規定で義務付けられており、他の学科では在学中に将来目指すべき姿を具体的に理解する機会と捉えて、積極的に取り組んでいる。 ・ 就職先企業と連携して、適切な実施要領・習得目標・評価基準を定めて実施している。 ・ インターンシップ終了後に報告会を開催し、習得度合・教育効果の確認をしている。 ・ 学園祭を始め、スポーツ大会・始終業式等も学生主体で進めている。 ・ 関係各所に随時行事の案内をしている。 	課題なし	特になし	実務研修依頼文 実務研修レポート

中項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
<p>学外実習、インターンシップ、海外研修等について十分な教育体制を整備している。</p>	<p>トヨタの各販売店、関連企業に協力をして頂いており、実務見学からインターンシップまで本校学生の受け入れ体制は整っている。 課外授業ではあるが、2年生に於いて、内定先にてインターンシップを実施していたが、上級課程へ進学する学生にもインターンシップを始めた。</p>

最終更新日付	平成 28 年 7 月 1 日	記載責任者	藤川 龍彦
--------	-----------------	-------	-------

6-24 防災・安全管理

小項目	チェック項目	評定	現状・具体的な取組等	課題	課題の改善方策	参照資料
6-24-1 防災に対する組織体制を整備し、適切に運用しているか	<input type="checkbox"/> 学校防災に関する計画、消防計画や災害発生時における具体的な行動のマニュアルを整備しているか <input type="checkbox"/> 施設・建物・設備の耐震化に対応しているか <input type="checkbox"/> 防災・消防施設・設備の整備及び保守点検は法令に基づき行い、改善が必要な場合は適切に対応しているか <input type="checkbox"/> 防災（消防）訓練を定期的に実施し、記録を保存しているか <input type="checkbox"/> 備品の固定等転倒防止など安全管理を徹底しているか <input type="checkbox"/> 学生、教職員に防災教育・研修を行っているか	4	<ul style="list-style-type: none"> ・東日本大震災の経験を踏まえて、それまでの防災マニュアルを再度見直し、整備し直して運用している。 ・施設・建物・設備の耐震対策および防災設備の保守点検は充分に行っている。 ・毎年定期的に消防避難訓練・寮生の夜間避難訓練を実施している。 ・定期的な訓練の際に災害時に留意すべき点について教育を行っている。 	課題なし	特になし	地震対応マニュアル 避難訓練実施要領 寮避難訓練・サバイバル訓練実施要領
6-24-2 学内における安全管理体制を整備し、適切に運用しているか	<input type="checkbox"/> 学校安全計画を策定しているか <input type="checkbox"/> 学生の生命と学校財産を加害者から守るための防犯体制を整備し、適切に運用しているか <input type="checkbox"/> 授業中に発生した事故等に関する対応マニュアルを作成し、適切に運用しているか	4	<ul style="list-style-type: none"> ・安全衛生に関する委員会を組織して、定期的に安全に関するチェックを行っている。 ・防犯監視カメラを始め、防犯体制を整えている。 ・事故対応マニュアルを整備している。 	課題なし	特になし	安全衛生委員議事録 学生の病気・怪我時の対応手順

小項目	チェック項目	評定	現状・具体的な取組等	課 題	課題の改善方策	参照資料
6-24-2 続き	<input type="checkbox"/> 薬品等の危険物の管理において、定期的にチェックを行うなど適切に対応しているか <input type="checkbox"/> 担当教員の明確化など学外実習等の安全管理体制を整備しているか	4	<ul style="list-style-type: none"> ・危険物の保管・管理は一括して適切な方法で実施している。 ・学外実習においても責任者を定めて適切に運用している。 	課題なし	特になし	重点管理設備日常点検表

中項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
防災に対する訓練や災害発生時の体制は整備されている。	入学直後の消防避難訓練から大災害時におけるサバイバル訓練、寮生のための必要物資の保管まで、防災に対する訓練を毎年確実にやっている。

最終更新日付	平成 28 年 7 月 1 日	記載責任者	藤川 龍彦
--------	-----------------	-------	-------

基準 7 学生の募集と受入れ

総括と課題	今後の改善方策	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
<p>学校運営に直接関わる学生募集活動は、少子化や業界環境等の変化で例年定員を満たすのが厳しい状況になりつつあるが、教職員一丸となつての取り組みやトヨタグループ各社の協力も得ながら、日々努力している。また、国土交通省でも「自動車整備要員の人材確保・育成に関する対策」を検討しており、昨年引き続き運輸支局長等による高校訪問で、自動車整備の仕事に関する説明を実施している。</p> <p>本校での募集活動では、学校評価の一つとなる就職、資格取得等の実績を正確に公表し、入学選考も適正かつ公平な基準に基づき実施している。今後も自動車業界に不可欠な専門技術を修得した優秀なエンジニアを継続的に輩出するために、サービスエンジニアの魅力を十分に理解されるような広報活動を重視した学生募集活動を展開していきたい。</p>	<p>募集につながる当校認知の拡大のため、WEB系PR活動やオープンキャンパス、各種イベントへの認知活動を強化する。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・H29年度生より、入学生の経済支援となる「トヨタ東自大奨学生」の「選抜奨学生」に加え、「女子奨学生」、「3級自動車整備士奨学生」、「スポーツ奨学生」を追加し、より多くの支援サポートを実施。 ・各種入試制度の中にトヨタグループ各社からの「企業推薦入試制度」の設定（「企業奨学金」制度の設定企業もあり） ・地方出身者の住居として、敷地内に定員317名の「安心・安全・安価」な校内寮が設置してある ・留学生（外国籍）も積極的に受入れ（国内就労可）

最終更新日付	平成28年7月5日	記載責任者	石水 渡
--------	-----------	-------	------

7-25 学生募集活動

小項目	チェック項目	評定	現状・具体的な取組等	課 題	課題の改善方策	参照資料
7-25-1 高等学校等接続する教育機関に対する情報提供に取り組んでいるか	<input type="checkbox"/> 高等学校等における進学説明会に参加し教育活動等の情報提供を行っているか <input type="checkbox"/> 高等学校等の教職員に対する入学説明会を実施しているか <input type="checkbox"/> 教員又は保護者向けの「学校案内」等を作成しているか	4	<ul style="list-style-type: none"> ・進学説明会への参加以外にも個別での高校訪問を実施し、積極的に最新の情報を提供している 	課題なし	特になし	<ul style="list-style-type: none"> ・進学説明会、高校訪問報告書
7-25-2 学生募集を適切かつ効果的に行っているか	<input type="checkbox"/> 入学時期に照らし、適切な時期に願書の受付を開始しているか <input type="checkbox"/> 専修学校団体が行う自主規制に即した募集活動を行っているか <input type="checkbox"/> 志願者等からの入学相談に適切に対応しているか <input type="checkbox"/> 学校案内等において、特徴ある教育活動、学修成果等について正確に、分かりやすく紹介しているか <input type="checkbox"/> 広報活動・学生募集活動において、情報管理等のチェック体制を整備しているか	4	<ul style="list-style-type: none"> ・協定に従い、適正に実施している ・問合せ、相談に誠実に対応する体制がある ・学校案内は毎年、教育活動、各実績・成果等の改定を行い、分かり易く表記している ・個人情報保護を徹底している 	課題なし	特になし	<ul style="list-style-type: none"> ・募集要項 ・学校案内

小項目	チェック項目	評定	現状・具体的な取組等	課題	課題の改善方策	参照資料
7-25-2 続き	<input type="checkbox"/> 体験入学、オープンキャンパスなどの実施において、多くの参加機会の提供や実施内容の工夫など行っているか <input type="checkbox"/> 志望者の状況に応じて多様な試験・選考方法を取入れているか	4	<ul style="list-style-type: none"> ・通年で実施内容を工夫したオープンキャンパスを開催しており、各地方会場でも随時実施している ・多様な試験、選考方法で実施している 	・今後もより多くの方が参加できる工夫	・時期、場所、内容をさらに充実	<ul style="list-style-type: none"> ・オープンキャンパス日程 ・募集要項

中項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
学生募集活動は、適正に行われている。	28年度生はLINE・ブログの有効活用で情報発信を強化し、メーカー校の優位性をPR、自動車関係に全般に興味を持った高校生を惹きつけたスマートモビリティ・コースと四大希望者へのアプローチを強化し、質重視及び効率的な募集活動・入試制度を継続したこともあり、1級自動車科への入学者数は定員を超えるが、高校就職好調もあり定員割れとなる。

最終更新日付	平成28年7月5日	記載責任者	石水 渡
--------	-----------	-------	------

7-26 入学選考

小項目	チェック項目	評定	現状・具体的な取組等	課 題	課題の改善方策	参照資料
7-26-1 入学選考基準を明確化し、適切に運用しているか	<input type="checkbox"/> 入学選考基準、方法は、規程等で明確に定めているか <input type="checkbox"/> 入学選考等は、規程等に基づき適切に運用しているか <input type="checkbox"/> 入学選考の公平性を確保するための合否判定体制を整備しているか	4	<ul style="list-style-type: none"> 入学選考は、適正かつ公平な基準に基づき運用している 	課題なし	特になし	<ul style="list-style-type: none"> 筆記試験基準 面接評価基準
7-26-2 入学選考に関する実績を把握し、授業改善等に活用しているか	<input type="checkbox"/> 学科毎の合格率・辞退率などの現況を示すデータを蓄積し、適切に管理しているか <input type="checkbox"/> 学科毎の入学者の傾向について把握し、授業方法の検討など適切に対応しているか <input type="checkbox"/> 学科別応募者数・入学者数の予測数値を算出しているか <input type="checkbox"/> 財務等の計画数値と応募者数の予測値等との整合性を図っているか	4	<ul style="list-style-type: none"> 入学選考に関する各種データは、学科毎に蓄積、管理している 入学後の教育に反映できる入学選考時の情報を、毎年蓄積し活用している 	課題なし	特になし	<ul style="list-style-type: none"> 入試各種データ

中項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
入学選考は、適正かつ公平な基準に基づき行われている。	特になし

最終更新日付	平成 28 年 7 月 5 日	記載責任者	石水 渡
--------	-----------------	-------	------

7-27 学納金

小項目	チェック項目	評定	現状・具体的な取組等	課 題	課題の改善方策	参照資料
7-27-1 経費内容に対応し、学納金を算定しているか	<input type="checkbox"/> 学納金の算定内容、決定の過程を明確にしているか <input type="checkbox"/> 学納金の水準を把握しているか <input type="checkbox"/> 学納金等徴収する金額はすべて明示しているか	4	<ul style="list-style-type: none"> 各校の状況から学納金の水準を把握すると共に、経費内容に対応して学納金を算定している 徴収金額は全て明示している 	課題なし	特になし	<ul style="list-style-type: none"> 各校の学納金データ 学校案内 入学手続き案内
7-27-2 入学辞退者に対し、授業料等について、適正な取扱いを行っているか	<input type="checkbox"/> 文部科学省通知の趣旨に基づき、入学辞退者に対する授業料の返還の取扱いに対して、募集要項等に明示し、適切に取扱っているか	4	<ul style="list-style-type: none"> 協定に従い、返還を適切に取り扱うと共に、募集要項等に明示している 	課題なし	特になし	<ul style="list-style-type: none"> 募集要項 入学手続き案内

中項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
学納金は妥当なものとなっている。	本校の学納金は、自動車整備の専門学校の中では、ほぼ平均値となっている。

最終更新日付	平成 28 年 7 月 5 日	記載責任者	石水 渡
--------	-----------------	-------	------

基準 8 財 務

総括と課題	今後の改善方策	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
<p>少子化・大学全入時代到来等の影響による応募者減少傾向にある中、本校はトヨタ自動車(株)直営校として、財務には余裕資金により安定している。校舎新設等の大型投資をした年以外は原則として黒字を確保している。</p> <p>上記のとおり、厳しい募集環境の中、教育の質をあげる努力をする中にも経費削減等のコスト意識を校長以下、全職員が共有して運営している。</p> <p>平成 27 年度については、多額の費用がかかったが、次の長中期的視野にたって西キャンパス購入した。目的は、校舎の屋上に駐車していた数多くの教材車両を西キャンパスに移動させることにより今後見込まれる大型地震に対し、校舎の安全性を大幅に向上させること、学生の車両運転技術を向上させるためにも学生用駐車場の確保すること、イベント時に不足していた来客用駐車場すること、また、オフロード車両用のコースを設定、そして、将来の校舎建替え時の校舎敷地確保することである。平成 28 年度中に整備、造成工事を実施する予定である。</p> <p>また、古くなっていく施設・設備のリニューアル、修繕、保全等の必要は年々増していくため、これらに対する資金・スケジュール計画を推進していく。</p> <p>貸借対照表にあるとおり、現預金および有価証券は、当面経営を十分に支える保有額は確保しているが、大型投資が一段落したところで単年度黒字化への取り組みが課題である。</p>	<p>募集環境は今後も厳しい状況が続くと考えられる中、収入の確保としては、まず定員の入学生確保とあわせて、経費支出の更なる低減を図る必要がある。</p> <p>28 年度生から自動車整備科の入学定員を 40 名増員したが、現実には定員を割った。29 年度には定員を充足するため、4S（紹介、推薦、奨学金、社員派遣）活動を更に展開する、あわせて、在校生へ上級課程の有用性を訴求し、上級課程への内部進学を更に向上させる。</p> <p>校内寮や提携マンションの定員充足率が減少しているため、この打開策として、校内寮の一部を一人部屋にリフォームし、あわせて、提携マンションの減額キャンペーンを実施することで、寮生間の移動、新規入寮生の増加を図る。</p>	<p>社会環境の大きな変化により、学生数の定員確保が必ずしも担保できる状況ではなく、樂觀はできない中、引き続き、大型投資の計画を進めているが、財務基盤としては余裕資金が安定しているため、当面は大きな不安はない。特に保有する資産は公債とトヨタファイナンス債に限定した有価証券と銀行の定期預金に限って運用している。</p>

最終更新日付	平成 28 年 7 月 1 日	記載責任者	眞田 泰寿
--------	-----------------	-------	-------

8-28 財務基盤

小項目	チェック項目	評定	現状・具体的な取組等	課題	課題の改善方策	参照資料
8-28-1 学校及び法人運営の中長期的な財務基盤は安定しているか	<input type="checkbox"/> 応募者数・入学者数及び定員充足率の推移を把握しているか <input type="checkbox"/> 収入と支出はバランスがとれているか <input type="checkbox"/> 貸借対照表の翌年度繰越収入超過額がマイナスになっている場合、それを解消する計画を立てているか <input type="checkbox"/> 消費収支計算書の当年度消費収支超過額がマイナスとなっている場合、その原因を正確に把握しているか <input type="checkbox"/> 設備投資が過大になっていないか <input type="checkbox"/> 負債は返還可能の範囲で妥当な数値となっているか	4	<p>応募者・入学者推移、充足率等の推移は把握している。</p> <p>収支バランスは、27年度、西キャンパスの取得による基本金繰入額に相当する額が多額となり、支出超過となった。</p> <p>BS上、翌年度繰越収入超過額は問題がない。</p> <p>収支要因の分析は毎年実施しており、要因は把握している。</p> <p>H25、26、27の設備投資は将来を見据えて計画を進めており、適正な投資と判断している。</p> <p>負債額は0円である。</p>	<p>厳しい応募環境の中、入学者確保の施策の更なる検討。</p> <p>収入に見合った支出となるよう経営体質の変化が必要。</p> <p>日銀によるマイナス金利政策は、資産運用収入が減少している中で、タイミングをみて、利率の高い公債等、安全かつ収入につながる運用案を検討する必要がある。</p>	<p>学生募集活動にかかる費用は、管理経費の中で大きな額をかけているが、これを毎年、担当部署が効率的運用により、無駄を削減しつつ必要な施策・ツール等かけるべきにはかけており、毎年5~10%削減を進めている。</p>	消費収支計算書（H28年度以降は、事業活動収支計算書）、資金収支決算書、貸借対照表、財産目録
8-28-2 学校及び法人運営に係る主要な財務数値に関する財務分析を行っているか	<input type="checkbox"/> 最近3年間の収支状況（消費収支・資金収支）による財務分析を行っているか <input type="checkbox"/> 最近3年間の財産目録・貸借対照表の数値による財務分析を行っているか	4	<p>分析は月次、6ヶ月、年次毎行っており収支状況およびBSの推移状況は毎年更新している。別途、過去の決算額に新しい決算数字を追加し、一覧性のある資料も作成している。</p>	課題なし	課題なし	財務分析表 決算推移表

小項目	チェック項目	評定	現状・具体的な取組等	課 題	課題の改善方策	参照資料
8-28-2 続き	<input type="checkbox"/> 最近3年間の設置基準等に定める負債関係の割合推移データによる償還計画を策定しているか <input type="checkbox"/> キャッシュフローの状況を示すデータはあるか <input type="checkbox"/> 教育研究費比率、人件費比率の数值は適切な数值になっているか <input type="checkbox"/> コスト管理を適切に行っているか <input type="checkbox"/> 収支の状況について自己評価しているか <input type="checkbox"/> 改善が必要な場合において、今後の財務改善計画を策定しているか	4	<p>負債はない。</p> <p>キャッシュフローデータは作成していないが、資金収支計算書にて判断している。</p> <p>教育研究費比率、人件費比率については、適切な数值と判断している。</p> <p>コスト管理は適切、収支状況の分析は実施しており現時点での問題点はないと評価している。</p> <p>収支状況については毎年分析している。</p> <p>財務改善計画としてはH29年度一部学費改定を予定している。</p>	<p>キャッシュフローに対するデータは、学校法人会計改定に盛り込まれる予定なので、これにあわせて経理システムの修正・更新をした。</p> <p>システム会社によるカスタマイズ対応のため、バグの確認等の必要がある。</p>	<p>システム会社との緊密な連携により、バグの確認後の指摘、是正確認をする。</p>	<p>資金収支計算書</p> <p>財務分析表</p>

中項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
<p>現時点での財務基盤は安定している。中長期的計画の推進により、大型投資等、積極的に計画を推進による支出増と厳しい募集環境があいまって、25、26年度に引き続き、27年度も単年度支出超過となった。28年度についても在校生数は微増に留まり、西キャンパスの造成整備工事により、支出超過の見込である。</p>	<p>収支面からすると自動車分野の専門学校としては、学生募集に影響している少子化、大学全入時代、クルマ離れ等、学校を取巻く環境は引き続き厳しいものがあるが、積極的な設備投資等により応募者増をはかり、財務基盤を安定化させていく予定である。</p>

最終更新日付	平成28年7月1日	記載責任者	眞田 泰寿
--------	-----------	-------	-------

8-29 予算・収支計画

小項目	チェック項目	評定	現状・具体的な取組等	課題	課題の改善方策	参照資料
8-29-1 教育目標との整合性を図り、単年度予算、中期計画を策定しているか	<input type="checkbox"/> 予算編成に際して、教育目標、中期計画、事業計画等と整合性を図っているか <input type="checkbox"/> 予算の編成過程及び決定過程は明確になっているか	4	年度予算は有効かつ妥当なものとなっている。中期計画は委員会を設置、トヨタ自動車と連携し、環境変化に対応するよう計画している。各部予算ヒアリング等実施している。	課題なし	特になし	基本理念 各部年度方針
8-29-2 予算及び計画に基づき、適正に執行管理を行っているか	<input type="checkbox"/> 予算の執行計画を策定しているか <input type="checkbox"/> 予算と決算に大きな乖離を生じていないか <input type="checkbox"/> 予算超過が見込まれる場合、適切に補正措置を行っているか <input type="checkbox"/> 予算規程、経理規程を整備しているか <input type="checkbox"/> 予算執行にあたってチェック体制を整備するなど誤りのない適切な会計処理を行っているか	4	予算に基づき執行するが、実行段階で更に妥当性を確認しながら計画を進めている。 予算計画・執行にあたっては左のチェック項目に照らして管理されている。	課題なし	特になし	決算書類、トヨタ自動車決算報告書、経理規則、教育部、学生部月次予算執行報告、

中項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
予算は有効かつ妥当なものとなっている。中期計画に基づき、年度毎、各部毎に目標を設定し、これを着実に推進している。28年度には、次なる中期計画に着手し、29年度末までにはこれを完成させる予定である。	特になし

最終更新日付	平成28年7月1日	記載責任者	眞田 泰寿
--------	-----------	-------	-------

8-30 監査

小項目	チェック項目	評定	現状・具体的な取組等	課 題	課題の改善方策	参照資料
8-30-1 私立学校法及び寄附行為に基づき、適切に監査を実施しているか	<input type="checkbox"/> 私立学校法及び寄附行為に基づき、適切に監査を実施しているか <input type="checkbox"/> 監査報告書を作成し理事会等で報告しているか <input type="checkbox"/> 監事の監査に加えて、監査法人による外部監査を実施しているか <input type="checkbox"/> 監査時における改善意見について記録し、適切に対応しているか	4	監事への定例報告のほか、年二回公認会計士事務所による監査を実施し、報告書を受領し、理事会で監事による報告を得ている。	課題なし	特になし	監事による監査報告書、後藤公認会計士事務所による監査報告書

中項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
会計監査は、公認会計士事務所による適正におこなわれている。	特になし

最終更新日付	平成 28 年 7 月 1 日	記載責任者	眞田 泰寿
--------	-----------------	-------	-------

8-31 財務情報の公開

小項目	チェック項目	評定	現状・具体的な取組等	課 題	課題の改善方策	参照資料
8-31-1 私立学校法に基づく財務公開体制を整備し、適切に運用しているか	<input type="checkbox"/> 財務公開規程を整備し、適切に運用しているか <input type="checkbox"/> 公開が義務づけられている財務帳票、事業報告書を作成しているか <input type="checkbox"/> 財務公開の実績を記録しているか <input type="checkbox"/> 公開方法についてホームページに掲載するなど積極的な公開に取り組んでいるか	4	<p>規程に則り、毎年決算理事会後、財務諸表、事業報告書を作成しており、学校関係者からの閲覧要望があった場合に対応できるよう準備している。</p> <p>平成 26 年度より HP での財務諸表の公開を実施しており、閲覧用と併用している。</p>	特になし	特になし	閲覧用財務書類等 消費収支計算書、資金収支計算書、貸借対照表

中項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
財務情報公開は平成 26 年度より実施している。	特になし

最終更新日付	平成 28 年 7 月 1 日	記載責任者	眞田 泰寿
--------	-----------------	-------	-------

基準 9 法令等の遵守

総括と課題	今後の改善方策	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
<p>コンプライアンス（法令等の遵守）においては、トップ方針に基づき、真摯に取り組んでいる。法令改定等が確実に適時入手できる仕組み作りが課題。</p>	<p>法令改定等の入手の確実性を高めたい。</p>	<p>文部科学省、国土交通省の規則、省令等をはじめ、東京都、八王子市、消防、安全衛生、個人情報保護法、その他各種法令およびその改変等に対応できるような情報の入手と実施を心がけている。</p>

最終更新日付	平成 28 年 7 月 1 日	記載責任者	眞田 泰寿
--------	-----------------	-------	-------

9-32 関係法令、設置基準等の遵守

小項目	チェック項目	評価	現状・具体的な取組等	課題	課題の改善方策	参照資料
9-32-1 法令や専修学校設置基準等を遵守し、適正な学校運営を行っているか	<input type="checkbox"/> 関係法令及び設置基準等に基づき、学校運営を行うとともに、必要な諸届等適切に行っているか <input type="checkbox"/> 学校運営に必要な規則・規程等を整備し、適切に運用しているか <input type="checkbox"/> セクシュアルハラスメント等ハラスメント防止のための方針を明確化し、防止のための対応マニュアルを策定して適切に運用しているか <input type="checkbox"/> 教職員、学生に対し、コンプライアンスに関する相談受付窓口を設置しているか <input type="checkbox"/> 教職員、学生に対し、法令遵守に関する研修・教育を行っているか	4	<p>関係法令及び設置基準は遵守され、適正な運営がなされている。改正、変更がある場合はすみやかに届け出る等の対応をしている。</p> <p>セクシュアルハラスメント等のハラスメント防止（禁止）等の規程は H26.6.1 付就業規則改定に伴い、条文規程のほか、内規にて規程した。 各種窓口は、総務部と規定している。</p>	法令改定等の早めの情報入手及び漏れのない対応。	積極的な法令改定の確認及び改定内容により届出書類リスト作成等による対応。	国土交通省、東京都、八王子市、消防等への変更届等

中項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
法令、設置基準等の遵守と適正な運営がなされている。	特になし

最終更新日付	平成 28 年 7 月 1 日	記載責任者	眞田 泰寿
--------	-----------------	-------	-------

9-33 個人情報保護

小項目	チェック項目	評定	現状・具体的な取組等	課 題	課題の改善方策	参照資料
9-33-1 学校が保有する個人情報保護に関する対策を実施しているか	<input type="checkbox"/> 個人情報保護に関する取扱方針・規程を定め、適切に運用しているか <input type="checkbox"/> 大量の個人データを蓄積した電磁記録の取扱いに関し、規程を定め、適切に運用しているか <input type="checkbox"/> 学校が開設したサイトの運用にあたって、情報漏えい等の防止策を講じているか <input type="checkbox"/> 学生・教職員に個人情報管理に関する啓発及び教育を実施しているか	4	<p>新入生、保護者、新職員からの誓約書の提出を確実に実施、規定に基づき、展開している。</p> <p>PC データ、閲覧、プリントアウト関連では、監視ソフトを導入し、ログを取り、自己規制が働くよう運用している。</p> <p>サイト運営についても SSL 等を使用し安全策を講じている。</p>	<p>職員、学生に対し、個人情報管理に関する啓発、教育の強化。</p> <p>H28年1月1日から「マイナンバー制度」が施行されるので、この準備が必要。</p>	<p>定期的な意識喚起、周知等を実施する。</p> <p>「マイナンバー制度」対応としては、既に講習等は受講しているが、具体的に規則、周知、システム等のそれぞれの具体的対応は今年度中に確定させる。</p>	(個人情報等に関する) 誓約書、LanScope (監視ソフト)

中項目総括	特記事項 (特徴・特色・特殊な事情等)
個人情報に関し、その保護のためのハード面、ソフト面において対策が取られているが、今年度中の「マイナンバー制度」対応が必須となってくる。	特になし

最終更新日付	平成 28 年 7 月 1 日	記載責任者	眞田 泰寿
--------	-----------------	-------	-------

9-34 学校評価

小項目	チェック項目	評定	現状・具体的な取組等	課題	課題の改善方策	参照資料
9-34-1 自己評価の実施体制を整備し、評価を行っているか	<input type="checkbox"/> 実施に関し、学則及び規程等を整備し実施しているか <input type="checkbox"/> 実施に係る組織体制を整備し、毎年度定期的に全学で取組んでいるか <input type="checkbox"/> 評価結果に基づき、学校改善に取り組んでいるか	4	平成16年度以来、毎年自己点検自己評価を実施しており、H26年度以降、学校評価実施規程施行、学校関係者評価等も受け、改善に取り組んだ。	課題なし	特になし	学校評価規程
9-34-2 自己評価結果を公表しているか	<input type="checkbox"/> 評価結果を報告書に取りまとめているか <input type="checkbox"/> 評価結果をホームページに掲載するなど広く社会に公表しているか	4	H26年度より、学校評価(H25年度分)をHP上で公表している。	課題なし	なし	
9-34-3 学校関係者評価の実施体制を整備し評価を行っているか	<input type="checkbox"/> 実施に関し、学則及び規程等を整備し実施しているか <input type="checkbox"/> 実施に際して組織体制を整備し、実施しているか <input type="checkbox"/> 設置課程・学科に関連業界等から委員を適切に選任しているか <input type="checkbox"/> 評価結果に基づく学校改善に取り組んでいるか	4	H27年度、2年目の学校関係者評価を実施した。チェック項目はすべて満たしている。	課題なし	なし	
9-34-4 学校関係者評価結果を公表しているか	<input type="checkbox"/> 評価結果を報告書に取りまとめているか <input type="checkbox"/> 評価結果をホームページに掲載するなど広く社会に公表しているか	4	H27年度には学校関係者評価のとりまとめ、HP上で公表している。	課題なし	なし	

中項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
自己点検・自己評価の実施と問題点の改善に努めており、H26 年度より公表しており、学校関係者評価においても実施、公表した。今後は課題となっている内容および制度、運用面での検討課題を抽出してこれを改善していきたい。	左記記載の通り

最終更新日付	平成 28 年 7 月 1 日	記載責任者	眞田 泰寿
--------	-----------------	-------	-------

9-35 教育情報の公開

小項目	チェック項目	評定	現状・具体的な取組等	課 題	課題の改善方策	参照資料
9-35-1 教育情報に関する情報公開を積極的に行っているか	<input type="checkbox"/> 学校の概要、教育内容、教職員等教育情報を積極的に公開しているか <input type="checkbox"/> 学生、保護者、関連業界等広く社会に公開するための方法で公開しているか	4	職業実践専門課程に伴う各科のデータをWEBにて公開している。	スマートモビリティ科はH27年度初の卒業生を出したので、H28年度申請にあたり、同科のデータを公開予定。	左記の検討実施	教育部各種書類・データ類

中項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
一括して閲覧できる状態ではないが、HP等に分散して表記している。	

最終更新日付	平成28年7月1日	記載責任者	眞田 泰寿
--------	-----------	-------	-------

基準 10 社会貢献・地域貢献

総括と課題	今後の改善方策	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
<p>地域社会の一員としてだけでなく広く官公庁、企業、団体からの協力要請に対して、できるだけ貢献できるよう対応している。</p>	<p>特になし</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・毎年、国土交通省へ自動車整備士国家試験会場として貸出し、近隣の小中学生の職業理解活動に対する協力、八王子市からの施設設備の見学依頼を受け入れている。 ・企業の自動車整備技術等の研修、特許庁等の官公庁からの自動車技術研修の受入れ、全国自動車大学校・整備専門学校協会の教職員研修への講師派遣をしている。 ・地域の清掃活動や防災活動への参加、八王子市主催のイベント・ボランティア活動への参加、近隣地域の祭礼への協力等、教員・学生が地域と共生共存するために社会貢献に努めている。 ・また、献血活動については毎年献血車を呼び、多数の学生・職員が協力している。

最終更新日付	平成 28 年 7 月 1 日	記載責任者	藤川 龍彦
--------	-----------------	-------	-------

10-36 社会貢献・地域貢献

小項目	チェック項目	評価	現状・具体的な取組等	課題	課題の改善方策	参照資料
10-36-1 学校の教育資源を活用した社会貢献・地域貢献を行っているか	<input type="checkbox"/> 産・学・行政・地域等との連携に関する方針・規程等を整備しているか <input type="checkbox"/> 企業や行政と連携した教育プログラムの開発、共同研究の実績はあるか <input type="checkbox"/> 国の機関からの委託研究及び雇用促進事業について積極的に受託しているか <input type="checkbox"/> 学校施設・設備等を地域・関連業界等・卒業生等に開放しているか <input type="checkbox"/> 高等学校等が行うキャリア教育等の授業実施に教員等を派遣するなど積極的に協力・支援しているか <input type="checkbox"/> 学校の実習施設等を活用し高等学校の職業教育等の授業実施に協力・支援しているか <input type="checkbox"/> 地域の受講者等を対象とした「生涯学習講座」を開講しているか <input type="checkbox"/> 環境問題など重要な社会問題の解決に貢献するための活動を行っているか <input type="checkbox"/> 学生・教職員に対し、重要な社会問題に対する問題意識の醸成のための教育、研修に取り組んでいるか	4	<ul style="list-style-type: none"> ・教育方針の一つに社会貢献活動を盛り込んで、実施している。 ・資格試験受験のための教育指導方法に関して、企業との情報交換を実施している。 ・企業のスポーツ大会や技術コンクール等の社内行事にグラウンドや実習教室を貸し出している。 ・高等学校のキャリア教育に教員を派遣して授業を実施している。 ・高校生対象の自動車整備の授業体験を通じて、職業理解活動に取り組んでいる。 ・学校の環境方針を定めて教職員および学生に周知すると共に、環境教育を重要な教育項目の一つとして位置付け、環境保全に関する授業を実施している。 	課題なし	特になし	教育部方針 中学生職場体験資料 環境教育レッスンプラン トヨタ東自大杯 京王線沿線中学生 バスケットボール 大会主催

小項目	チェック項目	評定	現状・具体的な取組等	課 題	課題の改善方策	参照資料
10-36-2 国際交流 に取り組んでいる か	<input type="checkbox"/> 海外の教育機関との国際交流の推進に関する方針を定めているか <input type="checkbox"/> 海外の教育機関と教職員の人事交流・共同研究等を行っているか <input type="checkbox"/> 海外の教育機関と留学生の受入れ、派遣、研修の実施など交流を行っているか <input type="checkbox"/> 留学生の受入れのため、学修成果、教育目標を明確化し、体系的な教育課程の編成に取り組んでいるか <input type="checkbox"/> 海外教育機関との人事交流、研修の実施など、国際水準の教育力の確保に向け取り組んでいるか <input type="checkbox"/> 留学生の受入れを促進するために学校が行う教育課程、教育内容・方法等について国内外に積極的に情報発信を行っているか	4	<p>米国でのモータースポーツ参加体験ツアーを、現地教育機関と連携して企画実施している。</p> <p>留学生の受入れについて積極的に取り組むと同時に、入学後の学習指導・生活指導・就職先の斡旋に力を入れて取り組んでいる。</p> <p>H27年度は JICE（日本国債協力センター）を通じたサウジアラビアからの研修生に対して、ジュニア・インストラクター研修のうち、“Teaching Method”を担当する等、国際水準の教育力向上に協力している。</p>	課題なし	特になし	見学者受入れ計画

中項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
社会貢献を通じた人材育成を重要な学生教育手法の一つと考えて、積極的に取り組み成果を上げている。	社会貢献活動等について実施後に学校 HP に掲載している。

最終更新日付	平成 28 年 7 月 1 日	記載責任者	藤川 龍彦
--------	-----------------	-------	-------

10-37 ボランティア活動

小項目	チェック項目	評定	現状・具体的な取組等	課 題	課題の改善方策	参照資料
10-37-1 学生のボランティア活動を奨励し、具体的な活動支援を行っているか	<input type="checkbox"/> ボランティア活動など社会活動について、学校として積極的に奨励しているか <input type="checkbox"/> 活動の窓口の設置など、組織的な支援体制を整備しているか <input type="checkbox"/> ボランティアの活動実績を把握しているか <input type="checkbox"/> ボランティアの活動実績を評価しているか <input type="checkbox"/> ボランティアの活動結果を学内で共有しているか	4	<p>・地域清掃に年 3 回参加、八王子市が募集する夏期休暇中のボランティア活動、八王子いちょう祭りの駐車場係、めじろ台祭りの神輿担ぎ応援等に毎年参加。</p> <p>また、献血車を呼び、毎年多数が献血に応じている。</p>	課題なし	特になし	学生献血者数は、累計 1 万人を超えている。厚生労働大臣より表彰 (H15.7) を受けている

中項目総括	特記事項 (特徴・特色・特殊な事情等)
学校として、ボランティア活動を奨励・支援している。	参加した学生を表彰等の対象としている。

最終更新日付	平成 28 年 7 月 1 日	記載責任者	藤川 龍彦
--------	-----------------	-------	-------

4 平成 27 年度重点目標達成についての自己評価

平成 27 年度重点目標	達成状況	今後の課題
<p>I 学生募集</p> <p>【目標】オープンキャンパス 1,300 名参加、入学定員 440 名確保</p> <p>1) スマートモビリティ棟と隣接地を有効利用した PR 力の強化</p> <p>2) 来校促進に向けた効率的なオープンキャンパス、イベントの実施</p> <p>3) 「募集活動の3S(紹介・推薦・奨学金)」の更なる浸透</p> <p>II 教育内容・学習環境</p> <p>【目標】資格・就職100%(第一志望合格率90%)、課外諸活動の全校生参加</p> <p>1) 定員増に対応した新カリキュラムの確立(自動車整備科)</p> <p>2) 登録試験全員合格に向けた取り組み</p> <p>3) 企業が求める「車が好き」で「逞しい」人材の育成</p> <p>4) スマートモビリティ棟を用いた次世代技術教育の実施</p> <p>III 教職員 ・ IV 学校経営 : 採用・育成、経営、施設計画</p> <p>【目標】ベテランから若手へ伝承、黒字体質への転換</p> <p>1) 若手職員の重点的育成</p> <p>2) 内部進学増と施設の有効活用による黒字化</p> <p>3) 隣接地の購入と速やかな利用推進</p>	<p>1) 販売店等の見学会は、計画通り実施 1級自動車科定員達成したが整備科は減少</p> <p>2) 本校のオープンキャンパスは2回増やしたが来校者は、減少</p> <p>3) 販売店へのポスター掲示依頼 販売店からの紹介件数は、64 件</p> <p>1) 定員増に向けた 5 ローテーションのカリキュラムは、実施しながら、改善点を洗い出し、次年度のカリキュラムへ反映。</p> <p>2) 夏休み課題、放課後の勉強会等で学習習慣の定着化を図った。</p> <p>3) モータースポーツイベント等 31 件、参加延べ学生 2850 名</p> <p>4) 企業講師による新技術 (FCV、通信、ナビシステム等) 授業実施</p> <p>1) 模擬、公開授業等を実施。中堅職員から若手職員への教育法指導。</p> <p>2) 授業見学、作業体験等の積極的 PR により内部進学率向上。</p> <p>3) 隣接地の購入終了、イベントでの利用は行ったが、学生車両通学はまだである。</p>	<p>今後とも基本的にはこれらの重点目標をさらに深めていくと共に、販売店からの社員紹介も募集活動のひとつとして追加する。</p> <p>資格・就職に関しては、今後も 100% を達成するために PDCA をしっかり回し取り組んでいきたい。また、「車が好き」で「逞しい」人材育成にも積極的に取り組み、就職先での定着率を上げていきたい。</p>